

修士論文審査基準

関西福祉大学大学院教育学研究科 修士論文審査方法

1. 審査基準

別添「修士論文審査基準」により行う。

なお、「研究倫理」の項目において、研究倫理に重大な違反が認められる論文は、他の審査基準を満たしている程度に関わらず単位認定しない。

2. 審査体制・方法

(1) 審査体制

関西福祉大学学位授与規程に基づき、提出された論文ごとに審査委員会を設置する。審査委員は3名で、主指導教員は副査とする。他の2名は修士論文の内容に関する専門分野の指導教員（主査）と、関連分野の教員（副査）とし、研究科委員会が選出する。

(2) 審査方法

論文審査は、審査委員会が主査の総括のもとに行う。

- ①期限内に提出された論文について、審査委員会において口頭試験を行う。必要と認められる場合は修正指導を行った上で再提出を認める。修士論文発表会での発表を可とする場合は、最終試験を行う。判定は3名の委員の合議のもとに行い、その結果は主査が責任を負う。
- ②主査は論文の成績を審査報告書により研究科委員会に報告する。
- ③研究科長は学長に審議結果を報告する。
- ④最終試験終了後、修士論文発表会にて発表を行う。発表会での発表内容は成績の対象としない。発表は一人当たり発表20分、質疑応答10分の計30分にて行う。

(3) 審査委員の心構え

- ①審査委員は、現代の教育（学）研究の成果が多くの先人の成果であることを直視し、先行研究の成果に注意と敬意をはらうこと（研究倫理・先行研究の尊重）。
- ②審査委員は、教育学研究が究極的にはわが国における学校教育（学）の発展にいかに関与するかという姿勢と初心を大切にすること（研究の目的性・研究方法の適切性）。
- ③なおその際、審査委員は学校教育学研究の分野には、大きく分けて学校教育学の理論研究と実践研究の二つの分野があることを理解すること。スクールリーダーを育成するという理念から、理論と実践とは相互に結びついた両輪であることを視野に入れること（教育（学）研究としての適切性・独創性）。

修士論文審査基準

下記により、修士論文を次の5段階で評価する。

S：たいへん優れた論文である。

A：優れた論文である。

B：概ね良好な論文である。

C：いくつかの問題点はあるが、修士論文として認定しうる。

D：修士論文としての水準に達していない。

評価項目	S	A	B	C	D
①論文の形式 学術論文としての形式が整っているか。	学術論文としての形式が極めて整っている。	学術論文としての形式が整っている。	学術論文としての形式が概ね整っている。	学術論文としての形式があまり整っていない。	学術論文としての形式が著しく整っていない。
②目的の明示 研究目的が明確で、研究の背景に対する理解が十分であるか。	研究テーマが明確で、研究の背景に対する理解が極めて十分である。	研究テーマが明確で、研究の背景に対する理解が十分である。	研究テーマが概ね明確で、研究の背景に対する理解がある程度できている。	研究テーマが明確でなく、研究の背景に対する理解があまりできていない。	研究テーマが著しく明確でなく、研究の背景に対する理解が全くできていない。
③研究方法の適切性 研究方法是研究目的に対して適切であるか。	研究方法是研究目的に対して極めて適切である。	研究方法是研究目的に対して適切である。	研究方法是研究目的に対して概ね適切である。	研究方法是研究目的に対してあまり適切でない。	研究方法是研究目的に対して著しく適切でない。
④課題性と独創性 研究に課題性・独創性が認められるか。	研究に課題性・独創性が極めて認められる。	研究に課題性・独創性が認められる。	研究に課題性・独創性がある程度認められる。	研究に課題性・独創性があまり認められない。	研究に課題性・独創性が全く認められない。
⑤結果の考察 資料やデータの整理と考察に基づき、結論までの論述が論理的か。	資料やデータの整理と考察が極めて十分であり、結論までの論述が実に論理的である。	資料やデータの整理と考察が十分であり、結論までの論述が論理的である。	資料やデータの整理と考察がほぼ適切になされ、結論までの論述が概ね論理的である。	資料やデータの整理と考察があまり適切になされておらず、結論までの論述が論理的と言いが難い。	資料やデータの整理と考察が著しく適切になされておらず、結論までの論述が全く論理的でない。
⑥引用規則 引用規則が守られているか。	引用規則がよく守られている。	引用規則が守られている。	引用規則が概ね守られている。	引用規則があまり守られていない。	引用規則が著しく守られていない。
⑦研究倫理 研究倫理が守られているか。	研究倫理がよく守られている。	研究倫理が守られている。	研究倫理が概ね守られている。	研究倫理があまり守られていない。	研究倫理が著しく守られていない。